

済生会松山病院を受診された患者さんへ

済生会松山病院では下記の臨床研究を実施しています。

本研究では、対象者のカルテ情報を後ろ向きに調査しています。研究内容については済生会松山病院倫理委員会にて審査の上、承認されたものです。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に使用または提供されることを希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。なお、希望されない場合でも、今後の当院での治療に影響することはありません。

| | |
|--------------------|--|
| 研究課題名 | DPP-4 阻害薬、SGLT2 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬使用患者の実態調査 |
| 研究担当者 | 責任者：高垣純子（薬剤部） 実施者：三宅由芳子（松山大学薬学部） |
| 研究の背景 | 糖尿病の治療目的は、糖尿病合併症の発症及び進展の阻止による QOL の維持とされます。 近年になり DPP-4 阻害薬、SGLT2 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬といった糖尿病治療薬が承認され、その使用量は増えています。 これらの薬剤には血糖降下作用に加え、体重減少作用、腎保護作用、心血管疾患抑制作用を持つものがあり、合併症予防への貢献が期待されています。 |
| 研究の目的 | 本研究では、実際の臨床現場において DPP-4 阻害薬、SGLT2 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬使用開始時における患者状況および背景を調査することにより、より適正な治療薬の選択に資することを目的としています。 また、検査値の経過を追うことで、治療薬使用により血糖降下作用および合併症抑制につながる効果はみられているのか、実態調査を行います。 |
| 研究の方法 (使用する試料等) | 【対象となる患者様】 2018 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日に DPP-4 阻害薬、SGT2 阻害薬、GLP-1 受容体作動薬を新規に導入された方 【利用するカルテ情報】 性別、年齢、身長、体重、BMI、血糖値、HbA1c、AST、ALT、LDL-C、HDL-C、TG、eGFR、腎症病期、心不全の有無、降圧薬服用の有無 など 以上を電子カルテより後ろ向きに調査 |
| 結果の公表 | 本研究の結果は、論文または学会等で発表します。 |
| 個人情報の取扱い | 収集した情報は氏名・住所など患者さんを直接特定できるような情報は使用いたしません。個人が特定できない形に加工した後に解析利用しています。 また、学会等で発表する場合も、患者さんを特定できる個人情報は使用いたしません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| 問い合わせ先 | 済生会松山病院 薬剤部 高垣純子（研究責任者） 電話：089-951-6111（平日：8：30-17：00） |